

応援委員長を振り返って

応援委員長

私は選挙を経て応援委員長という立場に立たせていただきました。私は人前で活躍できる仕事に挑戦したいと考え立候補することを決めました。失敗したりしましたが、顧問の先生の支えや周りの人々の支援を受けて、なんとかやり切ることができました。今年から挨拶強調週間を実施しました。何度も何度もやる理由を聞かれたりしましたが、次第に活動として受け入れられ、周囲も少し意識してくれたと思います。たくさんの先生方から「この活動始めてからみんなの挨拶がいいね」と言われた時はとても嬉しかったです。まだこの活動には課題がたくさんあります。来年の応援委員長には、またこの活動をより活発なものにしてもらい、より良い小針中学校を作り上げてほしいです。今まで支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

全校が安心して学習に取り組めるために

学習委員長

私は約半年間委員長をつとめさせていただきました。委員長として活動する中でたくさんの気づきや学びを得ることができました。

最初は小針中をより良くしたいと言う一心で学習委員長に立候補しました。しかしざ自分が委員長になってみると本当に自分に務まるのか、本当に小針中をより良くすることができるのか、そんな不安な気持ちもありました。

しかし副委員長、学習委員の皆さん、顧問の先生方、全校の皆さんの協力のおかげで、学習委員会の活動はとても有意義なものになったと思っています。

また、生徒の皆さんから出た意見をもとに新しく「iPad 適正使用強調週間」を行いました。アンケートによれば、そのおかげでの不適切な使用が減り、適正使用が増えたと、どの学年からも声をいただきました。その達成感は今でも覚えています。

学習委員会は小針中の生徒が学習に集中して、安心して取り組める環境を作るためにある委員会です。今後も新しい学習委員長が小針中の学習環境を整えてくれることを期待しています。一年間ありがとうございました。

環境委員会の軌跡

環境委員長

今年度は、校内の環境整美や貸し傘の管理を徹底して活動してきました。掃除のない火曜日と木曜日に、隣り合うクラスで呼びかけあって教室や廊下の清掃、ロッカーの整理整頓の呼びかけを行いました。特に貸し傘の管理は、借り方や返ってきてない傘などを放送や学年の前で発表するなど、力を入れて取り組みました。清掃を忘れてりする人もいましたが、委員会で声を掛け合って、その都度話し合い、ほとんど全員の力で清掃をすることができました。この活動を通して、僕は学校の環境がより良くなり、過ごしやすい学校にすることができたと思います。

そして、環境委員長を経験して、僕は全校生徒の前で恥ずかしがらず、自分なりに発表ができるようになりました。また、委員をまとめるリーダーシップも身につけることができました。このような経験ができたのは、先生方や委員、貴重な意見を出してくれた全校生徒の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

生徒一人一人が規律・マナーを守り意識して生活する小針中学校

規律委員長

今年度、規律委員長として活動する中で、「生徒一人一人が規律・マナーを守り意識して生活する小針中学校」を目標にさまざまな活動を行ってきました。日常活動の着席者チェックでは着席者数が徐々に増え、意識の変化が感じられてとても嬉しかったです。日常活動、特別活動共に委員のみんなが一生懸命取り組んでくれて委員会全体として良い活動を行えたので良かったです。

また、自分自身この一年間で大変なことやうまくいかなかったことも沢山ありましたが、良い経験ができ、規律委員長になれて良かったと感じました。未熟な委員長ではありましたが、先生方や規律委員の皆さんに助けられ充実した委員会活動を行うことができたと思います。規律委員の方々や先生方、本当にありがとうございました。これからも規律・マナーを守り意識してもらえると嬉しいです。

みんなの笑顔がごちそうです

給食委員長

給食委員会は学校の縁の下の力持ちのような存在です。牛乳当番や逆走当番など生徒のみなさんがよりよく過ごせるよう陰ながら仕事を行なってきました。今年は食缶給食への移行に伴い、給食放送当番やコンテナ運搬当番が増えました。委員のみなさんはすぐに適応してスムーズに仕事をやりきってください、ありがとうございました。

私は、みんなが「ただ食べる」だけではなく、笑顔で給食を楽しんでほしい、そんな思いから「いただきます」の前には「お手を拝借」と場を和ませるようにしました。

皆さんが少しでも給食の時間が楽しいと思っていただけたなら嬉しい限りです。

委員長という貴重な体験ができたのは支えてくださった先生方、委員のみなさん、応援してくださったみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

臨機応変な対応ができた一年

広報委員会

広報委員会は、一人一人が責任をもち、自分の仕事に取り組むことが必要とされます。そして、広報委員会は今年、昨年に比べて沢山の変更がありました。

前期には学級を紹介する学級紹介ポスターを作成しました。例年アナログで手書きだったものを、デジタルにすることにより、担任の先生方の写真を使用するなど、明るくユーモアのある作品が沢山作成されました。それぞれの個性が輝き、とても楽しい企画になりました。

そして最も大きい点は、この「つくし」がデジタルに変わったことです。今までは生徒会誌として生徒にのみ配付していたものが、今こうしてデジタルで誰にでも見てもらえるようになり、とても嬉しい反面、変更点が多く、大変なことも多々ありました。

最後に、委員長として初めて経験することが多く、不安に感じることもありました。委員の皆さんの頑張りのおかげで順調に進めることができました。協力してくれて、ついて来てくれてありがとうございました。

成長した1年間

整美委員長

今年度の整美委員会で最も印象に残った仕事は、ワックスがけでした。この作業では、他の委員の状況に気を配りながら、自分の仕事を進めることを心がけましたが、初めての委員長としての大きな仕事ということもあり、とても緊張しました。しかし、自分は何をするべきかを考え、他の委員との協力と、自分の仕事を両立させることができたと思います。

ワックスがけを通して、他人への気配りの大切さやその難しさ、協力することの大切さを学びました。私が2つのことをスムーズに進められたのは、委員の皆さんのおかげです。委員全員が自主的に動き、クラスや学年の壁を越えて協力し合う姿がありました。特に、三年生の委員が主体となって一、二年生を引っ張っていく姿がとても頼もしく感じました。

最後に、サポートして下さった先生方、全校生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

1年間の振り返り

体育委員長

今年度、体育委員長として活動する中で、行事の運営や日々の委員会の仕事を通して、多くの人に支えられていることを改めて実感しました。体育委員会は「小針中の体育を安全で楽しいものにする」というスローガンのもと、活動してきました。今年度の体育委員会では、主に体育館の見回り、涼秋祭の全校種目運営を行いました。体育館使用は、今年度から制度を変更し、より安全に遊べるものになりました。来年度では僕のできなかった「全校が楽しめる体育」を目指してほしいです。全校種目運営では、夏休み前から案を考え、何度も改善を繰り返し形にすることができました。当日は委員会全体で協力し合い、全校生徒が一体となって成功させることができ、良い思い出になりました。初めは委員長として責務を全うできるか不安でしたが、先生方や前・後期の委員のみなさんのおかげで、なんとか最後までやり遂げることができました。本当に1年間ありがとうございました。

一年間を振り返って

図書委員長

「図書室をもっとたくさんの人にとって快適な場所にしたい。」そう考え図書委員長に立候補したのが約一年前でした。今年から赴任された司書の小野先生のおかげもあって、新入荷の本が増え、図書室内のディスプレイも刷新され、以前よりも格段と活気あふれる快適な空間となりました。

これまでを振り返ると、先生からGOサインがもらえるまでミニ図書コーナーのポップを一生懸命に作ってくれたりだとか、急な招集にもしっかり集まってくれたりだとか、色々な場面でこの図書委員会の仕事に真摯に向き合ってくれている委員の皆さんの姿を見ることができました。この一年間でたくさんの経験を得られましたが、なにより委員長という立場でしか見られなかったであろう素敵な姿をたくさん見ることができたのが、いちばんの成果だと思っています。これからの図書委員会が、新しい挑戦の絶えない、真っ直ぐでひたむきな委員会になっていくことを願っています。

放送委員長を通して学んだこと

放送委員長

私は、1年間放送委員長を務めて、集団をまとめあげることの難しさと、委員会運営に携わることのやりがいを感じました。

私は最初、委員長を務めることに乗り気ではなく、先生に推薦されて委員長になりました。そのため、最初はやりたい気持ちとやりたくない気持ちが半々で、やる気はありませんでした。しかし実際に委員長を務めてみると、集団をまとめあげることの難しさを感じ、生半可な気持ちではやっていけないと実感しました。改めて今までの委員長を尊敬すると共に、自分も頑張ろうという気持ちになりました。委員長の仕事が後半になるにつれ、委員会の運営にもなれてきました。うまく委員会の運営や指示ができるようになって、自分の行動が委員会の方向性を決めているという実感が湧き、それを通じてやりがいを感じることができました。

委員長になって学んだことを高校での生活に活かせるよう頑張ります。

保健委員長として活動してみて

保健委員長

保健委員会の委員長として過ごした一年を振り返り、私は委員のみんなと協力しながら活動を進める大切さを強く感じました。特に、委員全員が自分の仕事をこなすことができるように手助けをすることが大変でした。日々、生徒の健康を裏で支えるというあまり目立った委員会ではなかったけれど、皆が安心して過ごせる環境づくりに貢献できたことに手応えを感じました。委員長として最も意識したのは、委員のみんなの個性や意見を反映できるようにまとめることです。活動が続ける中で、最初は不安なことも多かったけれど、顧問の先生や副委員長、ついてきてくれた委員のみんなのおかげで自分自身も成長できたと感じています。特に顧問の先生には、私たちのことをずっと支えてもらい困った時は助言をくれ、本当に心強い存在でした。心から感謝しています。これからも学んだ姿勢を忘れないようにしたいです。

ボランティア委員長として歩んだ一年

ボランティア委員長

ボランティア委員会では、「ボランティア活動をさまざまな方向から広め、より多くの生徒に参加してもらおう」という目標を立て、学校内外での活動を進めてきました。今年度から、ポスター掲示や呼びかけの強化、ロイロノートの資料箱の活用に取り組みました。これらの活動を行ったことによる効果は、11月中旬に行った平島公園清掃でよく表れたと思います。突然の呼びかけではありましたが、例年よりも多くの生徒が参加し、互いに協力し合う姿がとても印象的でした。私は「ボランティア委員長」という立場を経験したことで、計画を立てることの大切さを学びました。一年間の活動を計画通りに進めるのは容易ではありませんでしたが、失敗や修正の経験を通して、計画を立て実行する力が少しずつ身についてきたと感じます。委員長として未熟な点もありましたが、周りの方々の支えがあって多くの経験を積むことができました。皆様、本当にありがとうございました。

選挙を終えて

選挙管理委員長

選挙に関わって下さった先生、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんのおかげで無事選挙を終え、来年度の学校のリーダーを決めることができました。

今年は「選挙は究極の推し活です」というスローガンのもと選挙を行いました。

立候補者、最高責任者、協力者の皆さんも朝早くから選挙の活動、立会演説会など本当にお疲れ様でした。

選挙当日は委員全員で会場の設営、投票台の組み立て、また、委員全員で遅くまで学校に残り開票作業を行うなど非常に大変でしたがいい思い出となりました。ですが今年は無効票が多く、委員会としての呼びかけが足りなかったと感じました。そこを来年の課題として次の選挙に繋げていって欲しいです。

選挙期間多くの仕事をしなければいけなくてとても大変でしたが、大勢の前で話す、人を引っ張るなど委員長を経験したことで色々な面で成長することができました。

活動としては短い期間でしたが、本当にありがとうございました。

学年と自分のために

前期3学年委員長

前期は主に涼秋祭学年種目の運営と、学年スローガンの決定・掲示物作成を行いました。学年種目は、制約もある中で学年全員が楽しめる内容にするため、夏休みも集まって話し合いをしました。準備や運営は大変な仕事でしたが、当日学年のみんなが楽しそうにしている姿を見て、頑張っただけよかったと思いました。学年委員全員で協力できたからこそ、良いものがつくれたのだと思います。学年スローガンは、1人1人が主役である完璧で究極の学年へという意味が込められた「アイドル」に決まりました。つくしが公開される頃には義務教育最後の学年としてふさわしい集団になっていれるよう頑張ります。

私は学年委員長を務めるのが2期目だったので少し慣れもあり、前回よりは落ち着いて取り組めたと思います。今回も、前回務めた後期では経験できなかった涼秋祭の運営などを通して貴重な経験ができました。ありがとうございました。

一年を通して学んだこと

前期2学年委員長

前期の二学年委員長として活動した期間は、自分にとって大きな成長の場になりました。頑張ったことは、学年のみんなが気持ちよく学校生活を送れるように調整したことです。特に涼秋祭前には、ルール 의견が食い違うことが多く、どの案を優先するか悩む場面がありましたが、できるだけ多くの人々が納得できるように話し合いを工夫しました。また、時間をかけて準備したり、自分から動いて先生や友達に確認したりすることで、リーダーとしての責任感も強くなりました。

活動を通して感じたことは、「人をまとめることの大変さ」と「協力してもらえぬありがたさ」です。一人ではできないことも、周りが力を貸してくれたおかげで成り立っていると実感しました。先生や2学年委員の全員に感謝しています。今回の経験を生かし、これからもさらに周りをよく見て行動できるようにしたいです。

1 学年の強い所

前期1学年委員長

小針中学校の教育目標は、「協調し 創造する たくましい生徒」を短くして「おやつ」と呼んでいます。私は、この1学年の「おやつ」の「つ」の強い所を紹介します。涼秋祭では、もちろん勝ち負けはあります。ですが、クラスで力を合わせ、試行錯誤し、大縄をする姿。秋創祭では、クラスで決めた歌を最高の合唱にするためにたくさん話し合っ、たくさん練習をしてきました。また、学校行事に以外にも日常生活でも、強い所があふれています。例えば、先生に注意されたことは、声を掛け合ったり一人一人が意識をしたりしていました。私のクラスでは、1分前着席強調週間の期間中、全員が声をかけ合っ本気で取り組んでいました。掃除があったりと上手く出来ない日が多かったです。最終日は、全ての時間に全ての人が座っていました。最後に、約半年間ついてきてくれた学年委員の皆さん、1学年の皆さん、全力でサポートして下さった先生方、本当にありがとうございました。